

つくる、えらぶ、のこす、こわす ～高度経済成長期の東京景観考～

日本橋の上を通る首都高速道路は、高度経済成長期(1955(昭和30)年～1973(昭和48)年)のさなかにつくられ、当時を代表する建造物のひとつですが、近年、高架を取り壊し地下に走らせる計画が立てられています。この工事により、日本橋はほぼ半世紀ぶりに「空」を取り戻し、高度経済成長期以前の姿になるといわれています。一方で、日本橋地域では、江戸時代に遡る歴史や伝統に重きを置いた再開発が進んでいます。全体として、江戸をイメージした景観像が形成されようとしています。

高度経済成長期の景観は、画一的な議論の中で、理想的な景観を阻害する要因として位置づけられることも少なくありません。高度経済成長期の景観には、文化的価値がないのでしょうか。東京にこれらの景観が生まれたとき、そこには希望や憧れや期待が寄せられたはずで、都市の景観は「誰が」「何の目的で」「誰のために」取捨選択されているのでしょうか。

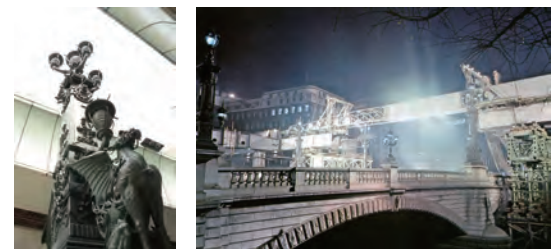
本展覧会では、以上のような問いから、高度経済成長期というひとつのターニングポイントに着目し、当時つくられた建造物などを写真パネルで展示します。また、展覧会の最終日には、ゲスト講師による講演会を行い、都市の景観について考える機会とします。

2008年12月17日(水)～20日(土) 写真展

【展示会場】東京大学本郷キャンパス 工学部2号館ギャラリースペース

【開館時間】11:00～19:00

(但し最終日は10:00～12:00)



写真提供:首都高速道路株式会社

ゲストプロフィール



五十 嵐太郎(いがらし たろう)

1967年、パリ(フランス)生まれ。建築史・建築批評家。

1990年、東京大学工学部建築学科卒業。

1992年、東京大学大学院修士課程修了。博士(工学)。

現在、東北大学准教授。

第11回ベネチア・ビエンナーレ国際建築展日本館展示コミッショナーを務める。

著書=『終わりの建築／始まりの建築』(INAX出版)、『近代の神々と建築』(廣済堂出版)、『戦争と建築』(晶文社)、『美しい都市・醜い都市』(中公新書ラクレ)、『現代建築に関する16章』(講談社現代新書)、『「結婚式教会」の誕生』(春秋社)、共著=『建築と音楽』(NTT出版)、編著=『建築と植物』(INAX出版)ほか多数。

申し込み・問合せ先

<問合せ先>

第8回文化資源学フォーラム事務局

〒113-0033 文京区本郷 7-3-1

(東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究室内)

e-mail: cr_forum@l.u-tokyo.ac.jp

URL: <http://www.l.u-tokyo.ac.jp/CR/> 電話番号: 03-5841-3722

<申し込み先>(先着100名)

インターネット・FAXどちらでも受け付けます。

URL: <http://form1.fc2.com/form/?id=361698>

FAX: 03-5841-3722 (担当:星野、横山)

12月20日(土) 講演会プログラム

【講演会場】東京大学本郷キャンパス 法文2号館2大教室

13:30

開場

14:00～14:05

挨拶 木下直之(東京大学大学院教授)

14:05～14:30

イントロダクション

「文化資源学フォーラムの企画と実践」履修生

14:30～15:30

講演 五十嵐太郎(東北大学准教授)

15:30～15:45

休憩

15:45～16:30

質疑応答&ディスカッション

16:30

閉会

本郷キャンパス地図



【東京大学本郷キャンパス】
地下鉄丸の内線・大江戸線「本郷三丁目駅」、南北線「東大前」駅、千代田線「根津」駅下車

第8回文化資源学フォーラム「つくる、えらぶ、のこす、こわす～高度経済成長期の東京景観考～」参加申し込み(FAX用)

※個人情報は本フォーラム以外の目的では使用いたしません。

※ご予約後にキャンセルをご希望される方は、お手数ですが、FAXにて再度ご連絡ください。

お名前 _____

フリガナ _____

ご所属 _____

返信用ご連絡先(FAXまたはメールアドレスなど) _____